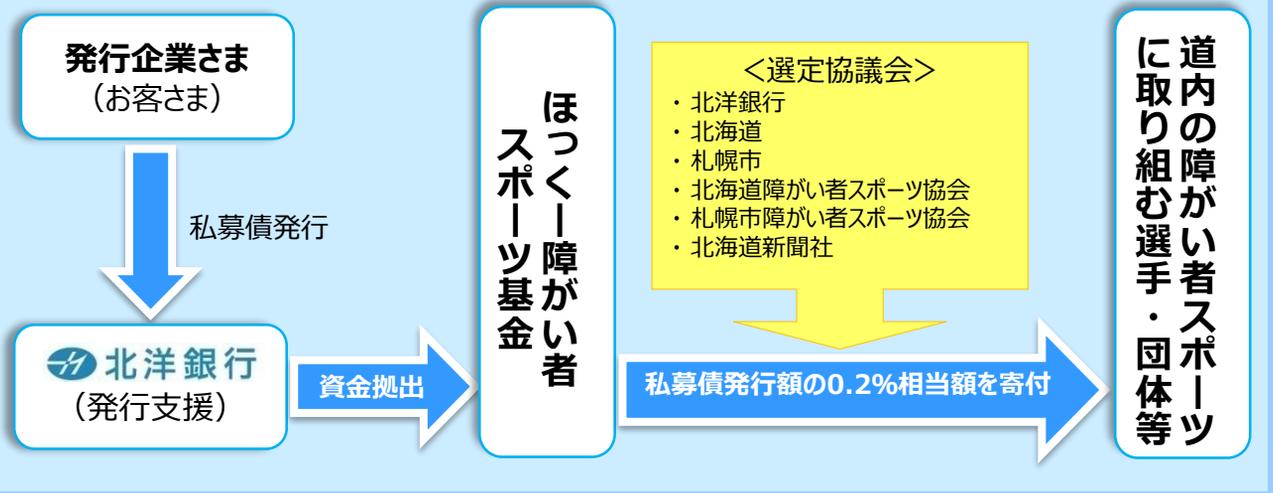


ほっくー障がい者スポーツ基金

2021年度 寄付先のご紹介

「SDGs（パラスポーツ応援）私募債」について

お客さまに私募債を発行いただくことで、北洋銀行が「ほっくー障がい者スポーツ基金」を通じて道内の障がい者スポーツ活動に取り組む選手・団体等に寄付金を贈ります。



2021年度寄付先について

2021年度は総額140万円を寄付します。寄付先の選定に際しては「ほっくー障がい者スポーツ基金選定協議会」にて寄付目的に関する2つのカテゴリーを設定し、次の7先に決定しました。

カテゴリー 1：世界を目指す選手の応援

- ① 岩本 啓吾 選手
＜ノルディックスキー＞
- ② 加藤 大雅 選手
＜柔道＞
- ③ 柴田 真聖 選手
＜ノルディックスキー＞
- ④ 田中 統大 選手
＜柔道＞
- ⑤ 田中 恵 選手
＜デフサッカー＞

カテゴリー 2：普及・振興活動への支援

- ⑥ 公益財団法人
北海道障がい者スポーツ協会
- ⑦ 一般社団法人
札幌市障がい者スポーツ協会

①岩本 啓吾（いわもと けいご）選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 脳性まひ障がい
- ・競技 ノルディックスキー

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

小学校の体育の授業で乗り、やりたいと思って始めたスキーが好きになった。

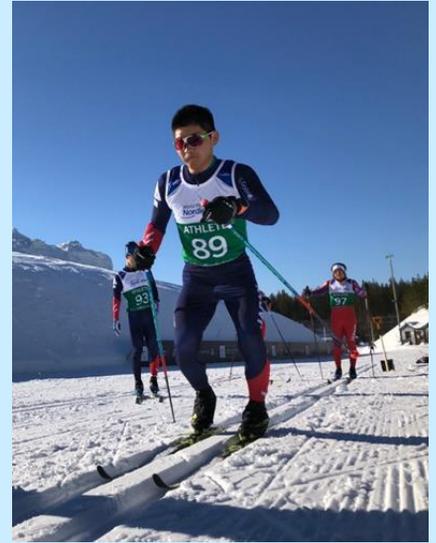
【主な競技成績】

- ・2014年 ソチパラリンピック フリー・スプリント 32位
- ・2018年 平昌パラリンピック クラシカル・ミドル 18位
- ・2019年 世界選手権（カナダ）クラシカル・ロング 12位
札幌ワールドカップ クラシカル・ショート 11位
- ・2020年 ドイツワールドカップ クラシカルスプリント・ショート 16位
- ・2021年 フィンランドワールドカップ クラシカルミドル・ショーツ 12位

3. 今後の目標

「北京パラリンピック大会、札幌パラリンピック大会入賞」

日本代表選手



②加藤 大雅（かとう たいが）選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 先天性無虹彩症
- ・競技 柔道

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

小学校5年生のときに、「強くさせたい」と両親に勧められ習い始めた。

【主な競技成績】

- ・2015年～2017年
全国視覚障害者学生柔道選手権3連覇
- ・2018年 第33回全日本視覚障害者柔道大会 3位
- ・2019年 第34回全日本視覚障害者柔道大会 3位

3. 今後の目標

「東京2020パラリンピックは残念だったが、パリ2024パラリンピック大会で金メダルをとりたい。」



③柴田 真聖（しばた まさきよ）選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 二分脊椎症
- ・競技 ノルディックスキー

強化指定C選手

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

埼玉で行われたパラアスリート発掘事業に参加し、声をかけてもらったこと。

【主な競技成績】

- ・2020年 第22回全日本障害者クロスカントリースキー競技大会 座位男子2.5km 優勝
- ・2021年 フィンランドワールドカップ ロング 13位

3. 今後の目標

「北京パラリンピック、ミラノパラリンピック出場。札幌パラリンピック入賞に向けてがんばります。」



④田中 統大（たなか すばる）選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 先天性感音性難聴
- ・競技 柔道

日本代表選手

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

当時4歳頃、世界柔道選手権大会が開催され、井上康生選手が豪快な内股で相手をなぎ倒していく姿をTVで見て、自分もあんな風に投げてみたいとあこがれを持ったこと。

【主な競技成績】

- ・2016年 全国高等学校柔道選手権北海道大会 66kg以下級 ベスト8
- ・2019年 アジア太平洋ろう者競技大会選考会 66kg以下優勝

3. 今後の目標

「自分はまだ未熟。相手とのやり取り、組手、寝技等あらゆる技に対して対策や作戦を練り、相手のペースを自分のペースになるよう、スピード重視で練習に励みたい。また、自分に足りない部分をなくすために、さまざまなトレーニングで試行錯誤していき、強靱な体を作りたい。」



⑤ 田中 恵 (たなか めぐみ) 選手【室蘭市】

1. 選手プロフィール

- ・障 がい 聴覚障がい
- ・競 技 デフサッカー

日本代表選手

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

もともと体を動かすことが好きで、小さい頃にサッカーで遊んでいた。その後、高校に女子サッカー部があったことをきっかけに本格的に競技を始めた。

【主な競技成績】

- ・2009年 台北デフリンピック 6位
- ・2018年 アジア太平洋ろう者サッカー選手権大会 優勝

3. 今後の目標

「デフリンピックに出場し、メダル獲得を目指す。また、デフリンピックの存在を広めていきたい。」



©日本ろう者サッカー協会

⑥公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会【札幌市】

1. 団体について

設立	1985年7月
代表者名	会長 佐藤 俊夫
団体構成員数	役員21人 会員236人
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階

2. 活動の概要

【団体の目的】

北海道における障がいのある人のスポーツの普及と振興を図り、スポーツを通じた体力づくりや仲間づくりによる社会参加を啓発するとともに、健康で生きがいのある地域社会の実現に努め、福祉の向上と健全な社会の発展に寄与することを目的として活動。

【主な事業内容】

- はまなす車いすマラソン・北海道障がい者スポーツ大会等の各種スポーツ大会の開催、全国大会への選手派遣、スポーツ教室・スポーツ指導者育成講習会の開催。
- 2015年から、当行と北海道との包括連携協定に基づく協働事業である「北洋銀行スポーツ応援事業」の事業実施主体として同事業を運営中。

【2021～2022年度の事業計画】

- 大会開催・派遣事業
北海道障がい者スポーツ大会、北海道障がい者冬季スポーツ大会、はまなす車いすマラソン、北海道身体障がい者アーチェリー競技大会、北海道障がい者水泳大会、北海道障がい者卓球競技大会、北海道身体障がい者ゲートボール大会、北海道障がい者ボウリング大会、全国障害者スポーツ大会北海道選手団派遣
- 教室開催、指導者養成事業
障がい者スポーツ教室、全道巡回障がい児者スポーツ教室、障がい者スポーツ競技指導者研修会、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
- 団体助成事業
障がい児者スポーツ団体助成



⑦一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会【札幌市】

1. 団体について

設立 1995年3月7日
代表者名 会長 浅香 博文
団体構成員数 11(会員団体数)
所在地 札幌市西区二十四軒2条6丁目1番1号

2. 活動の概要

【団体の目的】

札幌市内の障がい者に対するスポーツの普及と振興を図り、障がい者がスポーツを通じて体力の維持向上と、互いの交流を深めることにより障がい者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

【主な事業内容】

- 障がい者スポーツの普及、啓発
- 障がい者の各種スポーツの大会の開催・派遣
- 障がい者スポーツに関する指導者の育成
- 障がい者のスポーツに関する研修会、講習会の開催
- 障がい者の各種スポーツ団体の育成・指導・助成
- 障がい者スポーツに関する調査、研究

【2021～2022年度の事業計画】

- 第21回札幌市障がい者スポーツ大会（すずらんピック2021）の開催（中止）
- 第21回札幌市身体障がい者ボウリング大会の開催（中止）
- 第21回全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）の派遣（中止）
- 全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会の派遣（中止）
- 全国ろうあ者体育大会（中止）
- スポーツ教室の開催
- 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の開催
- スポーツ協会だよりの発行
- スポーツクラブの育成・助成

